

古文 品詞分解（動詞・助動詞）「伊勢物語・筒井筒」問題①

昔、田舎わたらひ^①しアける人の子ども、井のもとに^②いでて^③遊びイけるを、大人に^④なり
ウにエければ、男も女も^⑤恥ぢかはして^⑥ありオけれど、男はこの女をこそ^⑦得カめと^⑧思ふ、女は
この男をと^⑨思ひつつ、親の^⑩あはすれども^⑪聞かでなむ^⑫ありキける。さて、この隣の男のもと
より、かくなむ、

筒井筒井筒に^⑬かけクしまろがたけ^⑭過ぎ^⑮ケにコけらしな妹^⑯見サざるまに

女、返し、

筒井筒井筒に^⑬かけクしまろがたけ^⑭過ぎ^⑮ケにコけらしな妹^⑯見サざるまに
など^⑰言ひ言ひて、つひに本意のチごとく^⑲あひチにツケり。

さて、年ごろ^㉑経るほどに、女、親なく、頼りなく^㉒なるままに、もろともに言ふかひなくて
あら^㉓テむやはとて、河内の国、高安の郡に、^㉔行き通ふ所^㉕出できトにナケリ。^㉖さりニけれど、
このもとの女、悪しと^㉗思ヘヌる氣色もなくて、^㉘出だしやり^㉙ければ、男、異心^㉚ありて
かかるノにや^㉛あら^㉜バムと^㉝思ひ疑ひて、前栽の中に^㉞隠れゐて、河内へ^㉟往ぬる顔にて
見れば、この女、いとよう^㉟化粧じて、^㉟うち眺めて、

古文 品詞分解（動詞・助動詞）「伊勢物語」「筒井筒」 解答①

サ変用 過去

ダ下二用 バ四用 過去

ラ四用

過去

昔、田舎わたらひ①しゝける人の子ども、井のもとに②いでて③遊びゝけるを、大人に④なり完了 過去

ウニエければ、男も女も⑤恥ぢかはして⑥ありオけれど、男はこの女をこそ⑦得カめと⑧思ふ、女は

サ四用

ラ変用 過去

ア下二用 意志 ハ四終

この男をと⑨思ひつつ、親の⑩あはすれども⑪聞かでなむ⑫ありキける。さて、この隣の男のもと

ハ四用

ラ変用 過去

ア下二用 意志 ハ四終

より、かくなむ、
女、返し、

カ下二用 過去

ガ上二用 完了 過去推量

マ上一用 打消

過去

筒井筒井筒に⑬かけゝしまろがたけ⑭過ぎスケにコけらしな妹⑮見サざるまに

カ变未 過去

ガ上二用 完了 過去

マ上一用 打消

過去

比べ來シし振り分け髪も肩⑯過ぎスぬ君セならソづして誰か⑰上タぐべき

ガ变未 過去

ガ上二用 完了 過去

マ上一用 打消

過去

など⑯言ひ言ひて、つひに本意のチゴとく⑲あひチにツけり。

ハ四用

比況 ハ四用 完了 過去

ラ四用

さて、年ごろ⑳経ヌるほどに、女、親なく、頼りなく㉑なるままに、もろともに言ふかひなくて

ラ变未 意志

ガ上二用 完了 過去

マ上一用 打消

過去

あらテむやはとて、河内の国、高安の郡に、㉔行き通ヌふ所㉕出ヌできトにナけり。㉖さりニケれど、

ハ四用

カ变用 完了 過去

マ上一用 打消

過去

このもとの女、悪しと㉗思ヘヌる氣色もなくて、㉘出ヌだしやりネければ、男、異心㉙ありて

ラ四用

ラ变未 推量

ハ四用

カ变用 完了 過去

過去

かかるノにや㉚あらハむと㉛思ヘヌひ疑ヒひて、前栽の中に㉜隠ヌれゐて、河内へ㉝往ヌる顔ニにて

マ上一用

マ下二用

見ヌれば、この女、いとよう㉟化粧ジて、㉞うち眺メめて、